

C15-105	04/22	調査	河辺	400	400	せいせきタウンパーキング 19 時?分~21 時 09 分 「現地調査」とされている
---------	-------	----	----	-----	-----	--

聖蹟桜ヶ丘駅付近での夜間の駐車である。「現地調査」とされているが、町田市外の同じ地域で繰り返し、「現地調査」をおこなう必要が生じるとは考えにくい。当時は、多摩市議会の市議会議員選挙期間中（投票日平成27年4月26日）であり（甲37）、同選挙に立候補した民主党議員の応援に駆け付けたものと推測される。これは政治活動である。同年3月と4月に聖蹟桜ヶ丘駅付近でおこなわれた駐車は計11回にのぼっている。

C15-109	12/23	調査	河辺	1,300	1,300	トラストパーク多摩センターエルモール駐車場 12 時 32 分~19 時 50 分「現地調査」とされている
---------	-------	----	----	-------	-------	---

年末の祝日の多摩センター駅付近での駐車である。収容台数 103 台の大型駐車場であるが、駐車時間は7時間以上に及んでおり、休日最大料金である1300円を支払っている。「現地調査」とされているが、繰り返し、同駅付近で「現地調査」をおこなう必要が生じるとは考えられない。河辺議員は、2日後のクリスマスにも多摩センターの商業施設のそば（多摩センター丘の上プラザ駐車場）で同じく「現地調査」を理由とする駐車をおこなっている（J15-110）。周囲には、サンリオピューロランド、多摩中央公園、レストラン、カフェ、映画館などの商業施設が目白押しである。

### ⑰ その他の遠隔地での駐車

町田市から遠く離れた場所で、「市政相談」や「現地調査」をおこなう必要が頻繁に生じることは考えにくいですが、こうした駐車が繰り返されている。まちだ市民クラブの「現地調査」を理由とした遠隔地での駐車は、計27回に及んでいる。自民党も、町田市政との関連性をおよそ窺えない場所での駐車をおこなっている。

例えば、以下のような支出がある。

C15-76	06/13	調査	佐藤和彦	800	800	高尾GSパーク（八王子市初沢町1278-2） 08時32分～12時37分 「現地調査」とされている
C15-78	01/04	調査	佐藤和彦	900	900	SPT高尾山駅南口駐車場 08時48分～13時33分 「現地調査」とされている

前者の平成27年6月13日の高尾山行きは、佐藤和彦議員の長男が出場した高校野球の必勝祈願のためであったと推測される（甲58）。同議員もかつては高校野球にかかわった、とのことであるが、自身の息子の野球大会での必勝祈願は政務調査活動とは言えない。

また、後者の1月4日の高尾山行きは、初詣でのためのものと推測されるが、これも政務調査のための「現地調査」とは言えない。

C14-270	02/03	調査	石井	1,200	1,200	タイムズ国立東第5駐車場 19時41分～21時35分 「現地調査」とされている
C14-271	02/04	調査	石井	200	200	タイムズ国立東第5駐車場 06時40分～07時45分 「現地調査」とされている

石井議員が国立駅付近で2日にわたっておこなった駐車である。「現地調査」とされているが、初日は夜8時ころから駐車がおこなわれているほか、2日目は早朝に駐車がおこなわれている。真に調査目的であれば、ありえない時間帯での駐車である。申告された駐車目的が事実と反することを強く推測させる。国立市では、この駐車約2か月後に市長選挙（平成27年4月19日）と市議会議員選挙（同月26日）が予定されていた（甲37）。同市議会議員選挙には「みんなの党」から「結いの党」を経て「維新の党」となった生方裕一氏が立候補しており（甲59）、その応援であったと思われる。

石井議員は平成26年2月、「結いの党」の公認候補として立候補し当選し

た。選挙戦には、同党の幹部などが応援にかけつけた（甲60）。

H14-103	02/27	調査	大西	600	600	駐車場代 くにたち駐車場(国立市中1-16-26) 14時50分~16時44分「現地調査」とされている
---------	-------	----	----	-----	-----	---

この支出は、国立市内の駐車場の利用についての支出である。保守連合は、国立駅前通りの桜並木伐採に関する現地調査である旨の主張をしているが、大西議員や保守連合会派はそれに関する議員活動（発言）をした形跡がない。町田市内において桜並木の伐採に関して市として具体的な課題が生じていた事実もない。国立市という遠方まで視察に行く必要性があったとは認めがたい。

J14-97	11/14	調査	若林	1,200	1,200	タイムズ川崎大師入口駐車場 16時32分~20時20分 「打ち合わせ」とされている。
--------	-------	----	----	-------	-------	--

川崎大師の付近で、夜、3時間近くにわたっておこなわれた駐車である。「打ち合わせ」とされているが、川崎大師の付近まで出向いて、夜間に町田市政に関する何らかの打ち合わせの必要が生じたとは極めて考えにくい。

J15-147	05/15	調査	若林	1,600	1,600	駐車場代 泉岳寺（東京都港区） 13時05分~15時26分 「会議」とされている
J15-148	05/15	調査	若林	1,500	1,500	駐車場代 会議 タイムズミーツポート 東京ドーム 16時20分~19時18分 「会議」とされている。

東京都内でおこなわれた連続駐車であるが、2カ所で町田市政に関する「会議」がおこなわれたとは考えにくい。しかも、夜には、都内屈指の遊戯施設である東京ドーム付近で駐車がおこなわれている。政務調査のためのものとは認められない。この日は、東京ドームに隣接している後樂園ホールにおいて、ボクシング



の「東日本新人王戦」がおこなわれていた（甲61）。若林議員は町田市ボクシング連盟に所属しており、ボクシングトレーナーでもある（甲47）。わざわざ同所まで遠征した目的は、ボクシングの試合の観戦であったと思われる。明らかに政務調査とは無関係である。

H15-5	05/28	調査	大西	600	600	駐車場代 鎌倉プリンスホテル 駐車場 江ノ島側 17時18分 ~18時39分 「打合せ」とあ る。
-------	-------	----	----	-----	-----	--

これは、鎌倉市の観光ホテルの駐車場の利用である。このホテルは、湘南海岸を見下ろす高台にたっており、「レストランとプールがあるシックなホテル」とされている（甲62）。保守連合は、鎌倉市の施策についての関係者の打ち合わせと主張している。しかし、わざわざ遠方の鎌倉市まで訪問する必要性があったとはいえない。そもそも、「鎌倉市のオープンデータの施策に関する関係者との打ち合わせ」であったとすれば、鎌倉市役所の担当者を訪問したはずである。観光目的の利用が推測される。

#### ⑩ 鶴川駅前での駐車

まちだ市民クラブは、鶴川駅周辺の駐車場での駐車を非常に頻繁に繰り返している。計160件以上にのぼる（名目は、「市政相談」が約90件、「現地調査」が約40件、「会議」が約25件などとなっている）。同所は、スーパー、パチンコ店、銀行、コンビニ、飲食店などが立ち並んでおり、大型スーパー（小田急OXとマルエツ）もある。短時間での駐車も多く、同駅付近で買い物などちょっとした用事をおこなうための駐車も多数混じっていると推測される。

同駅の駅頭でおこなう街頭宣伝のための駐車については上述したが、これ以外にも政務調査・政務活動との関連性を認められない駐車が多く存在する。

例えば、以下のような支出がある。



C14-201	08/13	調査	森本	200	200	シンコウパーク鶴川駅前駐車場 14時31分～15時08分「市政相談」とされている
C14-202	08/13	調査	森本	400	400	シンコウパーク鶴川駅前駐車場 18時25分～19時33分「市政相談」とされている

森本議員が極めて頻繁に鶴川駅前で駐車を行っている。ありえない同日駐車が多数存在するほか、上記のように一日に2度の駐車がおこなわれているものもある。「市政相談」を理由とするものであるが、極めて不自然な駐車状況であり、真の駐車目的を申告しものとは認められない。他にも、極めて短時間の駐車が多く存在する。

C14-193	05/23	調査	森本	100	100	シンコウパーク鶴川駅前駐車場 17時25分～17時39分「市政相談」とされている
C14-195	05/29	調査	森本	100	100	シンコウパーク鶴川駅前 16時46分～18時10分「市政相談」とされている

これも森本議員による駐車である。いずれも「市政相談」が理由とされているが、最初の駐車はわずか14分間であるうえ、次の駐車（C14-194）と駐車時間が重なっている。つまり、どちらかは別人の駐車料金である。

### ⑱ 南大沢駅前での駐車

まちだ市民クラブは、町田市の外にある南大沢駅付近でも多数回にわたり駐車を繰り返している。駐車回数は95回に及ぶ。平成26年度、27年度の利用者はすべて河辺議員である（28年度、29年度も同議員による駐車であると推測される）。平成26年度はすべて「市政相談」、翌年度以降はすべて「現地調査」とされているが、真の駐車目的を反映しているとは認めがたい。駐車時間が深夜に及ぶものが多い。同じ南大沢駅付近で、何度も何度も現地調査をおこなう必要

が生じる、というのはいない。

例えば、以下のような支出がある。

C15- 131	12/21	調 査	河 辺	600	600	南大沢駅前パーキング 10時32分～20時10分 「現地調査」とされている
-------------	-------	--------	--------	-----	-----	---------------------------------------

10時間近い駐車である。「現地調査」とされているが、それほど長時間の調査は考えられない。まちだ市民クラブは、南大沢駅前で頻繁におこなわれた駐車について、「南大沢駅に駐車して電車に乗ることが多かった」などと主張している（同準備書面（1）26頁）。しかし、駐車時間に対応する電車代が政務調査費として計上されておらず、その主張に信憑性を認めることはできない。

C16- 181	09/15	調 査		600	600	南大沢駅前パーキング 20時02分～23時58分 「現地調査」とされている
-------------	-------	--------	--	-----	-----	---------------------------------------

こちらは、夜の8時すぎから深夜12時ころまでの駐車である。「現地調査」とされているが、真の駐車目的を反映したものとは思えない。

## ⑳ 市役所の駐車場での駐車

市役所の駐車場は、議員であれば無料で駐車できる（甲63）。それにもかかわらず、市役所の駐車について駐車場代が計上されている。これは、議員以外の第三者による利用と思われる。そもそも市役所の駐車は政務活動費の範囲ではない。

なお、まちだ市民クラブは、「議員が料金を支払って町田市役所の駐車場に駐車することは禁じられていない」と主張する（準備書面（1）28頁）が、無料で駐車できるものについて支出の必要性を認める余地はない。そもそも、市役所での有料駐車は議員以外の第三者が駐車をおこなったことを物語っているものであり、その点でも議員活動との合理的関連性を認める余地はない。さらに言えば、市役所内での執務は、市議会議員にとってルーティーンの仕事であって、政務調

査・政務活動以外のもろもろの事柄に携わるはずである。そうした仕事について、政務調査・政務活動費としての支出の必要性を認める余地はない。

例えば、以下のような支出がある。

C14-279	09/07	調査	石井	1,000	1,000	タイムズ町田市役所駐車場 08時43分～19時14分 「市政相談」とされている
---------	-------	----	----	-------	-------	---

10時間以上にわたる駐車である。「市政相談」とされているが、第三者による駐車であり、申告された駐車目的は事実と合致していない。

C16-47	04/03	調査	議員 名不 明	1,000	1,000	タイムズ町田市役所駐車場 14時20分～18時23分 「市政相談」とされている
--------	-------	----	---------------	-------	-------	---

これも約4時間の長時間駐車である。「市政相談」とされているが、第三者による駐車である。

H15-128	06/22	調査	大西	600	600	駐車場代 タイムズ町田市役所駐車場(森野2-2)09時30分～10時56分「会議」とされている
---------	-------	----	----	-----	-----	---

保守連合は、議員駐車券を別の車に置き忘れたと主張している。しかし、政務活動としての自動車利用を適切に行えばそのようなことは生じえない。この駐車場利用は、政務活動とは無関係の第三者の利用と推測される。なお、この日、議会は開かれておらず、その意味でも政務活動であったとは認めがたい。

## ㊴ ありえない同日駐車

まちだ市民クラブの支出には、同一の議員が同日に2か所(場合によっては3か所)の駐車をおこなっている「ありえない同日駐車」が数多く存在する。平成26年度と27年度のものだけで100件以上にのぼっている。平成28年度以降は、領収書に支出を行った議員の名前を記載していないため、ありえない同



日駐車が判明していないが、もし支出議員名が特定されれば、同年度以降も同様のものが多数存在すると推測される。逆に言えば、同会派が支出した議員名を開示しようとならないのは、「ありえない同日駐車」の存在を隠すためと言われてもいたしかたない。矛盾した駐車代の支出が多数存在することは、第三者による駐車代を政務調査費として計上していることを示している。議員以外の者が支出したものについては、政務調査や政務活動との間の合理的な関連性を認める余地はない。

こうした多数にのぼる「ありえない同日駐車」の存在は、個々の支出についての管理がほとんどなされておらず、領収書を集めて提出しているだけ、という実態を強く示唆している。

なお、まちだ市民クラブは、「補助者を使用してこれを（政務活動を）行うことを禁じる規定は存在しない」などと主張する（同準備書面（1）28頁）が、議員による調査研究活動は基本的に議員が行うものであり、政務調査費・政務活動費もこうした議員による調査研究・政務活動のために支給されたものである。運用指針でも、人件費の支出対象を会派室内で補助をおこなう者に限定したうえで、「臨時職員雇用報告書」の記入提出を要求している。これは、「補助」などの名目で無限定に政務調査費・政務活動費が支出されることを防ぐ趣旨であり、同会派の主張は到底採用し得ないものである。

例えば、以下のような支出がある。

C14-171	11/27	調査	佐藤和彦	600	600	平野屋第3駐車場 09時45～11時42分 「市政相談」とされている
C14-172	11/27	調査	佐藤和彦	300	300	タイムズ成瀬が丘駐車場 11時27分～12時23分 「市政相談」とされている

C14-173	11/27	調査	佐藤和彦	200	200	タイムズ森野第7駐車場 12時13分～13時2分 「市政相談」とされている
---------	-------	----	------	-----	-----	---------------------------------------

佐藤和彦議員がほぼ同時に3カ所で「市民相談」のために駐車をおこなったことになるが、ありえない。少なくとも3つのうち2つは第三者によるものである。そもそも、第三者が「市政相談」に同席する、というのは考えられないし、駐車時間もバラバラであることから、無関係の3つの駐車がおこなわれたことが優に認められる。

C15-192	05/07	調査	森本	200	200	シンコウパーク鶴川駅前駐車場 09時37分～10時11分 「市政相談」とされている
C15-193	05/07	調査	森本	1,000	1,000	シンコウパーク鶴川駅前駐車場 9時38分～12時48分 「市政相談」とされている

森本議員が同じ駐車場で、ほぼ同時に2台の自動車を駐車させたことになるが、ありえない。同議員は以下のガソリン代もほぼ同時に支出しているが、こちらもありえない。少なくとも3つのうち2つは第三者によるものである。

C15-447 5/7 萩生田石油 鶴川SS 23.70 L 給油 10:07 森本

H14-104	03/04	調査	大西	400	400	駐車場代 パークジャパン国立第2駐車場 (国立市中1丁目16) 15時41分～17時29分 「現地調査」とされている
H14-114	03/04	調査	大西	300	300	駐車場代 昭和大学藤が丘病院駐車場 (神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30) 17時11分～17時27分 「現地調査」とされている

保守連合会派の議員についても、ありえない時間帯での駐車場利用がある。

上記の二つの駐車場利用は同じ時間帯になされており、このような駐車を行うことは不可能である。

H15-2	02/15	調査	大西	400	400	駐車場代 マイパーキング江ノ島 駐車場 (藤沢市片瀬海岸1丁目 10-14) 12時33分~13時41分 「打合せ」とされている
H15-144	02/15	調査	大西	400	400	駐車場代 駐車場名不明 13時 09分~14時23分 「打合せ」と されている

この二つの駐車場利用も同じ時間帯になされている。保守連合は、それぞれの支出を海洋汚染の打ち合わせ、文化協会の打ち合わせと主張しているが、同時に行うことは不可能である。

## ② 特定の日々の駐車場利用

H14-162	02/15	調査	大西	200	200	駐車場代 ホテルザエルシイ駐 車場 10時58分~15時20分 A料金 1800円(割03) 1枚1600円 「現地調査」とされている
---------	-------	----	----	-----	-----	--

保守連合は、この支出について、文化協会の打ち合わせのためであると主張している。しかし、この日、ホテルザエルシイでは、萩生田勝利市瑞宝単光章記念祝賀会が開催されており、議長をはじめ、他の町田市議も多数参加したようである(甲64)。これは他の議員と同じく大西議員が個人的なつながりから参加したものであると思われる。いずれにしても政務活動とはいえない。なお、駐車場代が本来1800円のところ、1600円も割引がされていることから、ホテルで多額の支出がなされたと推測される。祝賀会であり、アルコールを含む飲食が供されたと思われる。



H16-113	08/27	調査	白川	1,100	1,100	駐車場代 原町田1丁目第一駐車場 19時26分～22時52分 「会合」とされている。
H16-143	01/27	調査	白川	1,000	1,000	駐車場代 ワンデーパーク原町田第1駐車場(6-1-21) 19時40分～22時58分「会合」とされている
H16-161	03/19	調査	白川	600	600	駐車場代 テクニカルパーク町田中町駐車場 12時15分～16時19分 「打合せ」とされている
H16-165	10/23	調査	白川	600	600	駐車場代 タイムズ町田中町4丁目駐車場 12時53分～16時30分 「打合せ」とされている
H16-166	09/03	調査	白川	600	600	駐車場代 タイムズ町田中町4丁目駐車場 中町4-13 09時01分～14時39分 「打合せ」とされている

これらの支出は、保守連合が認めるように、白川議員が「同窓会の会合に参加する」などの目的で駐車場を利用した際の支出である。平成27年1月27日には、町田高校同窓会の「岩崎会長」とアルコールを飲みながら談笑する写真がブログに掲載されている（甲65）。同窓会はプライベートな集まりであり、政務活動ではないことは当然である。

C17-213	12/03	調査		300	300	神蔵パーキング（鶴川駅前）13時21分～14時23分 「会議」とされている
---------	-------	----	--	-----	-----	---------------------------------------

森本議員による支出と思われる。当日は、午後1時から、鶴川駅前のポプリホールにおいて、「鶴川ショートムービーコンテスト」の授賞式がおこなわれていた（甲66）。これに出席するためのものと推測されるが、政務活動に要する経費とは言えない。

### 3 タクシー代

#### ① 深夜のタクシー利用

「市政相談」などの理由で、深夜に利用したタクシー代が計上されているが、市政相談などのために多数回にわたり深夜にタクシーを利用する必要が生じるとは考えられない。

例えば、以下のような支出がある。

C14-112	05/04	調査	戸塚	1,150	1,150	タクシー代 東日本タクシー株式会社 降車時間 04 時 26 分 「市政相談」とされている
C14-113	05/17	調査	戸塚	1,150	1,150	タクシー代 東日本タクシー株式会社 降車時間 01 時 57 分 「市政相談」とされている

午前2時ころと午前4時半ころの降車である。が、「市政相談」をそのような真夜中におこなうことはありえない。

J15-25	04/24	調査	木目田	1,240	1,240	タクシー代 東日本タクシー 2 時 13 分 「会議」とされている。
--------	-------	----	-----	-------	-------	------------------------------------

木目田議員による利用と推測されるが、午前2時過ぎまで「会議」をおこなうことは通常ありえない。2015年4月26日の統一地方選を2日後に控えた日の利用であり、深夜まで選挙対策をおこなったときのものと推測される。

J15-31	10/26	調査	議員 名不 明	1,240	1,240	タクシー代 東日本タクシー 03 時 22 分 「会議」とされている。
--------	-------	----	---------------	-------	-------	-------------------------------------

「会議」とされているが、午前3時過ぎまで会議をおこなうことは通常ありえない。政務調査との関連性を認めることは困難である。

## ② 早朝のタクシー利用

同じく、早朝のタクシー利用も、政務調査・政務活動との関連性が通常認めがたい。

例えば、以下のような支出がある。

J14-18	10/11	調査	渡辺	1,780	1,780	タクシー代 06時44分発行の領収書 「現地調査」
J14-19	10/20	調査	渡辺	1,330	1,330	タクシー代 04時29分発行の領収書 「現地視察」

「現地調査」とされているが、真夜中に現地調査をおこなう必要が生じるとは考えがたい。

## ③ 元旦のタクシー利用

元旦に「市政相談」をおこなうことは通常ありえない。しかも、多数回にわたり、そうした支出がおこなわれている。政務調査・政務活動との関連性を認める余地はない。年末から年始の恒例行事として、多くの議員が初詣の市民への挨拶や、神社での地元の氏子が集まる場所への顔出しをおこなっている。これは政務調査とは言えない。

例えば、以下のような支出がある。

J16-8	01/01	調査	熊沢	1,000	1,000	タクシー代 相模中央交通 「市民相談」
J16-9	01/02	調査	熊沢	1,330	1,330	タクシー代 東日本タクシー 00時02分 「打合せ」

前者は元旦に「市民相談」をした、後者は元旦の深夜に「打ち合わせ」をした、とのことであるが、よほどの緊急事態でもない限りありえない。

## ④ 高額（長距離）のタクシー利用

町田市政に関する政務調査・政務活動において、長距離のタクシー利用が必要



になることは通常ありえない。ところが、高額のタクシー代が複数回、支出されている。政務調査・政務活動との関連性は全く不明である。

例えば、以下のような支出がある。

J15-36	09/05	調 査	木目 田	7,660	7,660	タクシー代 ニュータウン交通 「会議」とされている。
--------	-------	--------	---------	-------	-------	-------------------------------

相当に長距離の移動をおこなったと推測されるが、政務調査・政務活動に関する「会議」において、長距離のタクシー利用が必要になることは通常ありえない。

J17-82	02/17	調 査	熊沢	4,420	4,420	タクシー代 相模中央交通㈱「打 合せ」とされている
--------	-------	--------	----	-------	-------	------------------------------

「打ち合わせ」とされているが、政務調査・政務活動において「打ち合わせ」が原因で長距離のタクシー移動が必要になることは通常ありえない。しかも、このタクシー利用は、町田市議会議員選挙の告示日の前日であり、議員が選挙活動に専念している時期にあたる。

H14-10	12/17	調 査	白川	3,250	3,250	タクシー代 東京都個人タクシー 協同組合(所在地 練馬区) 「現地調査」とされている
--------	-------	--------	----	-------	-------	--

保守連合は、経営者の交流会の参加のためと主張する。しかし、タクシー利用としては高額であり、このような支出が必要であったのか、きわめて疑わしい。

なお、白川議員のSUICA利用履歴によれば、白川議員は東京駅周辺に赴いていることがわかる(甲16-1、60頁)。履歴から見ると、東京駅付近で宿泊したことも窺える(16日に東京駅で出場し、翌17日に新宿駅で入場している)。

H16-48	02/20	調査	大西	3,160	3,160	タクシー代 東日本個人タクシー協同組合 「打合せ」
--------	-------	----	----	-------	-------	---------------------------

保守連合は、講演会講師との打ち合わせのための利用と主張している。しかし、「打ち合わせ」のためのタクシー利用がこのような高額になることは考えられない。支出内容は全く不明であり、支出の必要性は認められない。

### ⑤ 遠隔地でのタクシー利用

町田市の政務調査・政務活動において、遠隔地でのタクシー利用が必要になることは通常ありえない。政務調査・政務活動との関連性は全く不明である。

例えば、以下のような支出がある。

J16-17	11/02	調査	議員名不明	1,080	1,080	タクシー代 門真市（大阪府北河内地域に位置する市） 未来都無線センター 「会議」
--------	-------	----	-------	-------	-------	--

大阪市内でのタクシー利用である。「会議」とされているが、大阪市内で視察をおこなう旨の報告書等も作成されておらず、政務調査との関連性は全くうかがえない。自民党はこの支出をおこなった議員名を明らかにしていない。

J17-20	04/23	調査	渡辺	1,330	1,330	タクシー代 太陽交通 名古屋でのタクシー利用 「打合せ」とされている
J17-21	04/24	調査	渡辺	1,090	1,090	タクシー代。千成第一交通 名古屋での利用 「打合せ」とされている

名古屋市近郊でのタクシー利用である。「打ち合わせ」のため、とされているが、支出をおこなった渡辺議員はこのとき負傷しており、視察のために出張しうる状況にはなかった。すなわち、同議員のブログ（4月15日）（甲67-1）には以下のような文章がのっている。

「ご無沙汰しています、渡辺徹太郎です。

久々にやってしまいました。。。

先日、階段で足を滑らし転倒し、背中を強打し、背中側の肋骨を四本以上骨折してしまいました。」

5月9日の同議員のブログ(甲67-2)には次のような文章がのっている。

「みなさんご無沙汰してました。

肋骨5本7箇所骨折から、20日間たちました。」

このブログでは、負傷から1カ月程度がたち、ようやく回復したかのような記述となっている。こうしたブログに記載された状況のもとで、同議員が4月23～24日に名古屋まで出張した、というのは信じがたい。加えて、同地での視察に関する視察実施届や視察報告書も提出されておらず、政務調査との関連性は全くうかがえない。

なお、上記のタクシー利用の前後に同議員は以下の鉄道代も支出した。

J17-376 4/23 小田急線玉川学園前駅 05時54分発券 130円「打合せ」

J17-377 4/23 町田駅 JR東日本 06時05分発券 310円「打合せ」

J17-379 4/24 JR東日本町田駅発券清算代 160円 時間なし 「打合せ」

J17-378 4/24 小田急線町田駅 17時12分発券 130円「打合せ」

H14-9	12/13	調 査	白川	910	910	タクシー代(株)八重洲タクシー (所在地 世田谷区)「現地調査」 とされている
-------	-------	--------	----	-----	-----	---

保守連合は、国会議員との面談に向かうための支出であると主張する。しかし、その面談の詳細も不明であるうえ、タクシー利用の必要性があるとも思えないため、適法な政務活動の支出とはいえない。

なお、白川議員のSUICAの履歴(甲16-1、60頁)によれば、白川議員は平成26年12月13日に、桜新町(世田谷区)や学芸大学(目黒区)へ、12月14日には西武柳沢駅(西東京市)、12月15日は都立大学(目黒区)へ移動していることがわかる。同月14日は、衆議院議員選挙の投票日であり、同年12月21日は西東京市議会議員選挙の投票日であった。白川議員はもともと「みんなの党」の議員であったが、同年11月に同党は解党していた。衆



議院議員選挙においては東京第5区から、元みんなの党の三谷英弘衆議院議員候補（甲68-3）、西東京市議会議員選挙では、元みんなの党の森田いさお議員、石田史行議員が立候補していた（甲68-4、-5）。みんなの党に所属していた白川議員は、同じ党の仲間であった候補者の選挙応援のために、選挙区に赴いたと推測される。

H16-26	08/25	調査	大西	1,270	1,270	タクシー代 ヒノデ第一交通 (保土ヶ谷)
--------	-------	----	----	-------	-------	-------------------------

保守連合は、教育をただす会の打ち合わせのためのタクシー利用であると主張する。しかし、同会は活動実態がない団体であるうえ、保土ヶ谷という遠方にまで赴く必要性があるとはいえない。

#### ⑥ その他のタクシー利用

その他、明らかに政務調査との関連性を欠くタクシー利用もある。

例えば、以下のような支出がある。

C14-289	01/12	調査	わたべ	730	730	タクシー代 カンツリー交通株式会社「××まちだ祝祭」のためとされている。
H14-45	01/12	調査	新井	820	820	タクシー代 カンツリー交通株式会社「現地調査」とされている

「20才祭まちだ」、すなわち成人式に出席するためのタクシー利用である。成人式に出席する若者に挨拶をおこなうために成人式会場に行く議員が多くいるが、そうした活動は政務調査とは言えない。

C16-247	03/05	調査	議員名不明	300	300	神蔵パーキング（鶴川駅前） 09時40分～10時54分 「消防団
---------	-------	----	-------	-----	-----	----------------------------------

						ポンプ入魂式」への参加のためとされている
--	--	--	--	--	--	----------------------

「消防団ポンプ入魂式」に参加するため、とされている。しかし、こうした式典に参加することは政務調査とは言えない。

H14-47	01/26	調査	新井	820	820	タクシー代 神奈中ハイヤー(株) 「現地調査」とされている
--------	-------	----	----	-----	-----	----------------------------------

保守連合は、文化協会の会合に出席するための支出であると主張する。しかし、この日に行われたのは「新年賀詞交換会」であり（甲64）、私的な活動であることがあきらかである。

#### 4 高速代

##### ① 同一の遠隔地の反復訪問

町田市から遠く離れた場所を繰り返し訪れるために高速代が支出されている。「現地調査」や「会議」が理由とされているが、政務調査のためにそのような必要が生じることは通常ありえない。

例えば、以下のような支出がある。

J14-1	05/07	調査	渡辺	510	510	高速代 NEXCO 中日本 稲城料金所 20時07分
J14-2	05/07	調査	渡辺	930	930	高速代 首都高速 永福本線料金所 20時19分
J14-3	05/07	調査	渡辺	1,470	1,470	高速代 NEXCO 中日本 佐野藤岡料 金所 21時22分 浦和本線～佐野 藤岡

夜に、栃木県の佐野藤岡方面に行った際の高速代である。帰路の高速代、宿泊代は計上されていない。平成27年2月23日（J14-7～9）、同年9月23日（J15-17～18）にも、同じように同所を訪れているが、かくも頻繁に特定

の遠隔地を訪問する必要があるとは考えられない。

なお、佐野藤岡方面の頻繁な訪問について、自民党は「佐野市には佐野プレミアムアウトレットがあり、南町田駅地域の発展を検討する上での先進事例として、誘致方法や課題を調査する」目的であった、との釈明をおこなう。しかしながら、それほど綿密な調査をおこなったのであれば、調査結果が何らかの形で披露されてしかるべきであるが、そのような形跡はない。視察についての申請や報告もなされていない。しかも、上記の5月7日は深夜に佐野藤岡に向かっているし、2月23日（J14-7～-9）も同様に夜遅くに同地に向かっている。同所での宿泊代や帰路の高速代等の計上はなく、通常の視察の形態とは全く異なっている。

南町田駅地域の商業設備は、10数年前に東急が主導しておこなったものであり、町田市で課題となったのはその「再開発」である。自民党が行う「先進事例として誘致方法や課題を調査する」という主張は、そもそも状況が一致していない。

## ② 観光地の訪問

特定の観光地を何度も訪問するというパターンもある。政務調査のためにそのような必要があることは通常ありえない。

例えば、以下のような支出がある。

J15-6	08/08	調査	渡辺	340	340	高速代 NEXCO 中日本 7時50分、 横浜青葉 IC から東名川崎 IC へ 「会議」
J15-7	08/08	調査	渡辺	50	50	高速代 NEXCO 中日本 玉川料金所 8時15分
J15-8	08/08	調査	渡辺	930	930	高速代 首都高速 五反田料金所 15時47分 「会議」



J15-9	08/08	調査	渡辺	3,030	3,030	高速代 東京 IC から長泉沼津 IC へ 17 時 02 分 「会議」
J15-10	08/08	調査	渡辺	200	200	有料道路代 伊豆中央道 江間料 金所 17 時 18 分 「会議」
J15-11	08/08	調査	渡辺	200	200	有料道路代 修善寺道路 大仁料 金所 17 時 25 分 「会議」
J15-12	08/11	調査	渡辺	200	200	高速代 修善寺道路 大仁料金所 15 時 40 分 「会議」
J15-13	08/11	調査	渡辺	200	200	高速代 伊豆中央道 江間料金所 15 時 58 分 「会議」
J15-14	08/11	調査	渡辺	2,420	2,420	高速代 in 長泉沼津料金所 out 横 浜町田 19 時 20 分 「会議」

以下のガソリン代の支出もこの伊豆行きの際のものである。

- J15-186 8/11 11 時 37 分給油 出光 河津 サガミシード株式会社(静岡県賀茂郡河津町川津筏場 831-1) ハイオクガソリン(キグナスアルファ-100) 19.24L
- J15-187 8/11 19 時 59 分給油 中央石油(株)セルフ金井 ハイオクガソリン(キグナスアルファ-100) 50.50L(町田市に到着後の給油)

お盆休みの時期に3泊で伊豆修善寺方面に出かけたときのものである。最初、都内に寄ったうえで、そのまま伊豆方面に向かっているが、都心では「友人の結婚式」に出席している(甲69)。その後、伊豆に行き、同地に4日間滞在した。「会議」とされているが、同所で4日間かけて会議がおこなわれたとは考えられない。同地は、著名な観光地であるうえ別荘も多い。別荘に滞在するための利用であるとも推測される。いずれにしても、政務調査のためのものとは認められない。

なお、渡辺議員は上記のほか、以下のように「現地調査」を理由に、伊豆・下田方面を頻りに訪れている(ガソリン代と高速代)。

- J14-107 8/11 ENEOS 東海自動車株式会社稲取 SS 東伊豆で 22:44 給油 11.70L
- J14-4~J14-6 8/13 高速代 「現地視察」

J14-108 8/13 神奈川石油（株）（神奈川県秦野市）14：54 給油 12.270

（このときの伊豆行きの支出は、唐突に、同地（東伊豆）で深夜におこなったガソリン給油から始まる。行きの高速代がない）

J14-10～J14-13 （2015年）2/28～3/1 「現地視察」

J17-389～J17-394 （2017年）5/19～21 「現地調査」

以上を見ればわかるように、すべて同地での宿泊をとまなっているだけでなく、同地で2泊以上するケースが多い。これほど調査を重ねたとすれば、何らかの調査結果が明らかにされてしかるべきであるが、そのような報告がなされた形跡はない。視察に関する届出や報告も全くなされていない。

J17-395	05/27	調査	渡辺	1,450	1,450	高速道路代 NEXCO 中日本 in 相模湖 out 河口湖 10時50分 「現地調査」とされている
J17-396	05/28	調査	渡辺	1,450	1,450	高速道路代 NEXCO 中日本 in 河口湖 out 相模湖 7時48分 「現地調査」とされている

これは、平成29年5月に渡辺議員が山梨県の河口湖を訪れたときの高速代である。土曜日から日曜日にかけての訪問であるが、同議員は自身のブログ（甲70）に、「山梨に来ています!」、「道中、富士山の美しさに心を奪われました。気を付けて帰ります」などの文を載せている。このブログは土曜日の夜に現地で投稿されたものである。

C15-30	05/31	調査	谷沢	1,940	1,940	高速代 NEXCO 中日本 in 横浜町田 out 御殿場料金所 14時28分 「現地調査」
C15-31	05/31	調査	谷沢	360	360	高速代 NEXCO 中日本 小田原料金所 15時48分通行 「現地調査」 御殿場から町田への帰路

C15-32	05/31	調査	谷沢	360	360	高速代 NEXCO 中日本 平塚料金所 15時58分通行 同上
C15-33	05/31	調査	谷沢	650	650	高速代 NEXCO 中日本 in厚木 out 横浜町田料金所 17時04分 同上

谷沢議員が御殿場を訪問したときのものである（甲71）。日曜日に同所を往復している。「現地調査」とされているが、現地での滞在時間は極めて短時間。政務調査をおこなうための訪問とは考えられない。なお、この御殿場行きの際、御殿場料金所に到着する直前に足柄SAで以下のガソリン給油を行っている（東名高速足柄SAと御殿場の距離は2.6キロ）。

C15-299 5/31 東名足柄SA下りSS 14:24 32.03L 給油4,900円

H14-73	01/29	調査	大西	510	510	高速代 NEXCO 中日本 in相模原 愛川 out 高尾山料金所 12時47分 「現地調査」とされている。
H14-74	10/29	調査	大西	510	510	高速代 NEXCO 中日本 in相模原 愛川 out 高尾山料金所 11時42分 「現地調査」とされている。

高速道路の利用であり、高速道路を降りた場所が高尾山料金所である（甲72）。同所は観光名所である高尾山近くである。保守連合が主張するように市民団体の依頼があるとは到底思えず、むしろ観光のために私的に高速道路を利用したものと推測される。

## 5 鉄道代

鉄道代にも、政務調査との間の合理的関連性を認める余地がないものが多数存在する。

### ① 特定の遠隔地への頻繁な訪問

政務調査に際して、特定の遠隔地を頻繁に訪れ、現地調査や打ち合わせを行う



必要が生じる、というのは通常は考え難い。ところが、特定の遠隔地を頻繁に訪れ、泊りがけでの訪問もおこなっている例がある。

J16-24	04/25	調査		550	550	鉄道代 小田急線 玉川学園駅で 11時54分 発券、「打合せ」
J16-25	04/25	調査		420	420	鉄道代 首都圏整備鉄道 北千住駅 で13時13分 発券、「打合せ」
J16-26	04/25	調査		550	550	鉄道代 東京メトロ 北千住駅 22時27分発券、「打合せ」

J14-39 まで続く

渡辺議員は、北千住方面を頻繁に訪れている（甲73）。同駅からさらに、つくばエクスプレス（首都圏新都市鉄道）を使って、みらい平駅方面に向かうパターンの鉄道利用が繰り返されている。すなわち、平成28年2月23日、同年4月25日、同年6月17日、同年8月22日、同年9月30日、平成29年2月19～20日（泊りがけ）、同年4月3日、同年11月28日に利用がある。550円は玉川学園駅と北千住駅間の料金である<sup>2</sup>。

「打ち合わせ」あるいは「会議」が理由とされているが、泊りがけのものもある。町田から遠く離れた場所を「打ち合わせ」などのため、頻繁に訪れる必要性が生じることは考え難いし、泊りがけというのも通常はありえない。宿泊代も計上されていない。会派がおこなう政務調査のための必要にもとづくものと認めることは困難である。

## ② 深夜（早朝）での帰宅

政務調査において、深夜までおこなう会議が頻繁に繰り返されることも考え難い。ところが、「会議」を理由とした深夜あるいは早朝の帰宅のための電車代が計上されている例がある。

<sup>2</sup> 小田急線玉川学園～代々木上原 310円、千代田線代々木上原～北千住 240円

J14-35	04/25	調査	渡辺	130	130	鉄道代 小田急線町田駅 06時49分発行の領収書 「会議」
J14-36	06/15	調査	渡辺	130	130	鉄道代 小田急線町田駅 00時32分発行の領収書 「会議」

渡辺議員が町田駅から自宅に近い玉川学園駅まで乗車したときのものである（町田駅から玉川学園駅までの130円）。「会議」とされているが、深夜あるいは早朝（朝帰り）の乗車であり、そのような時間帯まで会議をおこなう必要性が生じるとは考え難い。同様の支出が他にも多数ある。

### ③ 選挙活動を応援するための鉄道利用

他の選挙区で、同じ政党に属する候補者を応援するために電車を利用している例もある。これも政務調査とはいえない。

H14-75	4/1～ 4/29	調査	不明	10,009	10,009	鉄道代 Suica 利用明細 「現地調査」とされている。
H14-81	12/5～ 12/26	調査	不明	11,155	11,155	同上
H14-82	12/16 ～2/15	調査	不明	14,376	14,376	同上

白川議員の Suica の利用履歴（甲16-1、54～62頁）には、同議員の移動状況が記録されているが、そこには、以下述べるとおり、選挙応援のためのものが複数存在する。

#### 【埼玉県久喜市議会議員選挙 平成26年4月20日投票】

「みんなの党」から貴志信智候補、鈴木精一候補の2人が立候補していた（甲68-2）。白川議員の Suica の利用履歴では、同年4月13日に、町田駅から新宿駅へ電車で移動したこと、久喜駅から新宿駅へ移動しその後新宿駅から町田駅に戻ったことがわかる（甲16-1、54頁）。選挙直前であり、選挙応援と思われる。なお、新宿から久喜までの往路は Suica を利用していない。

**【衆議院議員選挙 同年12月14日投票】**

衆議院議員選挙には、「みんなの党」の解党で無所属となった三谷英弘候補していた。白川議員の Suica の利用履歴では、12月9日には町田駅から長津田駅へ、東急田園都市線で自由が丘駅、都立大学駅へと移動している(甲16-1, 60頁)。同月10日には目黒駅へ、同月13日には東急田園都市線で桜新町駅、学芸大学駅と移動している。いずれも、三谷英弘候補の選挙区である『東京第5区』内の駅である。

**【西東京市議会議員選挙 同年12月21日投票】**

西東京市議会議員選挙には、「みんなの党」から森田いさお候補、石田史行候補の2名が立候補していた(甲68-3、-4の2)。白川議員は、同月14日に、町田駅から新宿駅、西武新宿駅を経て、西東京市内にある田無駅に行っている。同日、同市内の西武柳沢駅から西武新宿駅へと移動している(甲16-1, 60頁)。これは西東京市議会議員選挙の応援と思われる。森田いさお氏は、平成26年2月の白川議員の市議会議員選挙の際に応援に駆けつけている(甲68-4の1)。

**【神奈川県開成町議員選挙 平成27年4月26日投票】**

先の西東京市で立候補し落選した石田史行氏が「維新の党」から立候補した。白川議員の Suica の利用履歴では、同年1月18日に町田駅から開成町内の栢山駅へ、栢間駅から町田駅への利用がある(甲16-1, 61頁)。

なお、白川議員は、平成22年に町田市議会議員に当選した後、みんなの党(当時)の候補者として平成24年衆議院選挙(落選)、同25年東京都議会議員選(落選)に出馬し、その後、平成26年2月の町田市議会議員選挙で再び町田市議会議員となったという経歴を有している。同年の選挙の際には、みんなの党の所属議員らが多数、選挙応援に駆けつけている(甲60)。例えば、みんなの党代表渡辺喜美、松田公太参議院議員、三谷英弘衆議院議員、市川市の石崎議員、大和市の山本議員、西東京市の森田議員、神奈川県議(南区)小林県議、愛川町の熊坂議員、つくば市の黒田市議など、白川議員のツイッターに名前が挙がっている。



## 6 海外への渡航費

外国に出向いて政務調査をおこなうことは、調査費用が非常に多額に上ることを考えれば、国内調査では補えないという具体的な必要性が存在することが要求されると言うべきである。こうした必要性が認められない場合、政務調査費からの支出は認められない。

H14-84	06/04	調 査	新井	170,620	170,620	航空券代 (『2014年グローバル・パートナーシップ・サミット』(7月22日火~7月25日金 国連本部・ニューヨーク) 主催 日本青年会議所への参加)
H14-84	7/22	調 査	新井	119,703	119,703	同上宿泊費

新井議員は、平成26年当時、日本青年会議所及び町田青年会議所の会員であった。「公益社団法人日本青年会議所 関東地区東京ブロック協議会 防災・復興支援担当副会長」、「一般社団法人町田青年会議所直前理事長」といった役職にもついていた(甲74-1)。

日本青年会議所では、平成26年7月23~25日に『2014年グローバル・パートナーシップ・サミット』と命名された会議を米国内でおこなったが、新井議員はこの会議に参加した。新井議員は、当時所属していた日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会のメンバーとして、同会議に参加した際の状況を記載している(甲74-3)。

すなわち、このリレーブログは、

「このブログがあがっている頃、私はニューヨークにいるのでしょう。・・・今年が最後だから。こんな経験ができるなんて、もう一生ないだろう。」

という興奮気味の文章で始まっている。飛行機内で作成された文書には、「国連本部内での会議は一体どのようなものだろうか」という文書もある。新井議員(1974年7月10日生まれ)にとって、平成26(2014)年が、青年会議所の会員として最後の年となる(青年会議所は40歳で退会となる)。その

前に何としても、ニューヨークに行きたいと思う本人の気持ちは伝わる。その後の文章でも、会議がおこなわれたホテルの状況などの文章が並んでいる。この会議では、国連ミレニアム開発目標の達成に向けた行動について確認された、とされているが、新井議員のブログでは青年会議所のメンバーとしての行動、発言以外、何も語られていない。この会議への出席は、新井議員が青年会議所の会員（役員）としておこなったものであって、会議の議題も町田市政とは無関係である。少なくとも、大金を投じて「政務調査」をおこなう必要があるようなものではない。

なお、この会議では、「議長招待のレセプション」が予定されている（甲74-2）。このレセプションへの参加費を含む登録費は5万円という、かなりの高額である。このほか、「エスカレーション」としてオプションツアーの野球観戦やボートクルーズなどが組まれた。この野球観戦の前には「ニューヨークのプチ観光」もおこなわれた（甲74-2）。「会議」という名目ではあるが、観光目的も兼ねたものであったことがうかがえる。

以上のように、新井議員による上記会議への参加は、新井議員が青年会議所の会員（役員）としての活動の一環としておこなったものであって、町田市議会議員として所属会派の活動としておこなったものとはいえない。

## 7 ガソリン代

### ① ありえない同日給油

駐車代だけでなく、ガソリン代についても議員ではない人物がおこなったと目される給油代が計上されている。こうした給油については、政務調査との間の合理的関連性を認める余地はなく、全額が違法である。

例えば、以下のような支出がある。

C14-352	12/14	調査	河辺	5,000	5,000	ENEOS Dr. Driveセ ルフ南大沢店での給油 14時07 分 36.50
---------	-------	----	----	-------	-------	---

C14-353	12/14	調査	河辺	5,096	5,096	ENEOS Dr. Driveセルフ南大沢店での給油 13時55分 37.2ℓ
---------	-------	----	----	-------	-------	---

河辺議員が給油をおこなった、とされているが、同じガソリンスタンドでほぼ同時刻に給油がおこなわれており、少なくとも一方は議員以外の人物がおこなったものである。同議員は、同様の給油を C14-354 と C14-355 でもおこなっている。

J14-98	05/07	調査	渡辺	5,000	5,000	中央石油（株）セルフ金井 19時22分 32.9ℓ
J14-99	05/07	調査	渡辺	2,839	2,839	中央石油（株）セルフ金井 19時33分 18.68ℓ

渡辺議員がおこなった、とされているが、前同様に、同じガソリンスタンドでほぼ同時刻に給油がおこなわれており、少なくとも一方は議員以外の人物がおこなったものである。

J14-104	07/28	調査	渡辺	2,000	2,000	中央石油（株）セルフ金井 18時16分 13.89ℓ
J14-105	07/28	調査	渡辺	2,130	2,130	中央石油（株）セルフ金井 18時22分 13.66ℓ

これも、渡辺議員が前のものと同じガソリンスタンドで「ありえない同日給油」をおこなったものである。同議員は、このほかにも同様の不自然な給油を繰り返しており、同議員のガソリン代の申告は全体として信憑性が全く認められない。

H14-245	07/23	調査	大西	2,709	2,709	中央石油販売(株)山崎団地SS 11時58分 16.93L 現金フリー
---------	-------	----	----	-------	-------	-------------------------------------



H14-246	07/23	調査	大西	5,000	5,000	中央石油販売(株)山崎団地SS 11 時 39分 31.25L 現金フリー
H14-247	08/21	調査	大西	5,737	5,737	中央石油販売(株)山崎団地SS 20 時 16分 36.31L 現金フリー
H14-248	08/21	調査	大西	3,459	3,459	中央石油販売(株)山崎団地SS 20 時 30分 21.89L 現金フリー

保守連合の大西議員によるガソリン給油であるが、同日に近接した時間で給油を行うことはあまりに不自然であり、真実このような給油がされたか極めて疑わしい。

なお、H14-245、-246(7月23日)は大西議員による以下の駐車と矛盾する。

H14-119 7/23 1,000円 にこここパーキング長津田第1駐車場 09:59～17:53

## ② 近接した日の給油

同日ではないが、極めて近接した日に給油がおこなわれている例も多い。政務調査のために遠方に出張した、などの特別の理由がある場合であればともかく、政務調査のための移動は通常は町田市内など近距離が大半を占め、長距離の自動車移動が必要になることはない。それにもかかわらず、極めて近接した日に再び給油がおこなわれていることは、第三者がおこなった給油のレシートが混在していることを推測させる。

例えば、以下のような支出がある。

J16-220	04/06	調査	松岡	1,991	1,991	ENEOS フロンティア東京第2 Dr. Drive セルフ町田木曾店 レギュラー 18.18L
J16-221	04/07	調査	松岡	2,489	2,489	ENEOS フロンティア東京第2 Dr. Drive セルフ町田木曾店 レギュラー 22.73L

J16- 222	04/10	調 査	松岡	2,668	2,668	ENEOS フロンティア東京第2 Dr. Drive セルフ町田木曾店 レギ ュラー 24.36L
-------------	-------	--------	----	-------	-------	---

松岡議員によるものであるが、4月6日、7日、10日と立て続けに給油がおこなわれている。いずれも町田市内の同一のガソリンスタンドでのものである。政務調査のための自家用車の利用によって、これほど頻繁に給油が必要になることは考えられない。同議員のガソリン代の支出状況は、不自然なものが多数存在しており、全体として信憑性が全く認められない。

C15- 430	08/08	調 査	佐藤	5,072	3,804	鶴見石油(株) 町田金森 SS 11:56 40.90 L
C15- 431	08/11	調 査	佐藤	2,976	2,232	鶴見石油(株) 町田金森 SS 16: 50 23.62 L

佐藤和彦議員による給油であるが、約40リットルを給油したのに、わずか3日後に再び同一のガソリンスタンドで給油がおこなわれた。

H16- 199	05/25	調 査	大西	3,500	3,500	有限会社 石阪石油 薬師 SS 14時10分 29.41L 現金フリー
H16- 200	05/27	調 査	大西	3,050	3,050	有限会社 石阪石油 薬師 SS 12時12分 25.63L 現金フリー
H16- 201	06/27	調 査	大西	2,600	2,600	有限会社 石阪石油 薬師 SS 17時00分 21.14L 現金フリー
H16- 202	06/28	調 査	大西	2,100	2,100	有限会社 石阪石油 薬師 SS 15時33分 17.07L 現金フリー

いずれの給油も近接した日の間になされており、不自然な給油である。上記以外、保守連合においても近接した日の給油は数多く存在する。その数は、平成26年度に11回、同27年度に14回、同28年度に15回にも及ぶ。

### ③ 議会の本会議開催中の給油

議会の本会議に出席しているはずの議員が、その時間中に「ガソリンスタンドで給油をおこなった」としてガソリン代を計上している例も多い。これも、議員以外の第三者がおこなった給油であり、政務調査のためのものとは言えない。

例えば、以下のような支出がある。

J14- 142	06/11	調 査	松岡	3,000	3,000	ENEOS フロンティア東京第2 DDセルフ忠生店 13時40分 18.07ℓ Tカード不使用
-------------	-------	--------	----	-------	-------	---

松岡議員によるものであるが、当日は6月議会の一般質問日であった。午前10時開会、午後4時32分散会、との記録がある。同議員も出席していた。それにもかかわらず、本会議開会中に忠生に行って給油した、とされており明らかに矛盾している。

C14- 359	06/10	調 査	森本	4,412	4,412	ENEOS 萩生田石油鶴川SSで の給油 9時39分 26.74ℓ
-------------	-------	--------	----	-------	-------	--------------------------------------

森本議員によるものであるが、当日は6月議会の本会議一般質問日であった。(10時開会)。議会開始のわずか21分前の給油であり、議員によるものとは思えない。グーグルマップの移動時間は17～19分とされている。市役所内での駐車や移動に要する時間を考えると議会での出席と両立しない。この支出は支払状況も違っている。すなわち、森本議員はほとんどVISAカードにより支払いをおこなっているが、この給油を含む4回だけJACCSカードで支払いをおこなっている。この点でも第三者による給油と認められる。

### ④ 異なる支払方法による給油

いつも給油をおこなっているガソリンスタンドであれば、通常、同じ方法でガソリン代の支払いをおこなう。ところが、いつもとは支払方法が異なるガソリン代のレシートが混じっている例がある。こうした給油も、第三者によるものと推